

第5章 事業の効果と結論

第5章 事業の効果と結論

(1) 事業の効果

NIEの拡充により、スリランカ国の教育の発展が促進されるが、具体的には次の効果が期待される。

1). 学校教育管理運営の強化

NIEは、教育行政担当者、学校の校長及び副校長等を対象とした教育管理職員の学校運営知識、技術、能力の向上を目的とした研修を行っている。施設、職員が拡充されることに伴い研修者数の規模も年間300名から460名と約1.5倍に拡充され、研修の普及が早まり、教育の質的向上を支援する学校教育の管理、運営が効率化され強化される。

2). 教員養成の強化

初等・中等教員のうち約37%が教職専門教育を受けていない教員であり、そのうち高卒者が35%、大卒者が65%を占めている。これらの教員の教職専門教育は、高卒教員が通信教育部、大卒教員が教員養成部で行われている。この教員養成計画が拡充されることにより正式教員および大学院教職課程修了の正式教員が増加するとともに、教職専門技術を修得した教員の増加が加速され、教育水準の向上を図る上で必要な教員養成の強化につながる。

また、教育大学、教員学校の教官養成研修も計画されており、教官養成が推進されることにより、各大学での教員養成も強化されることが期待されている。

3). カリキュラム、教材開発の促進

NIEでは、カリキュラム開発部門を中心として初等教育、国語・宗教・社会科教育、理科・数学教育、技術教育のカリキュラムの開発、視聴覚教材を含む教材開発を行ってきたが、施設の不備、機材の不足、職員の不足等により、これ以上の開発を進めにくい状況にある。施設、機材、職員の拡充によりカリキュラムの開発、教材開発の促進が可能となり、教育の質的向上につながる。

教材開発のうち視聴覚教材は、比較的新しい教材であり、教育上の効果も大きく、その開発は教育の発展の促進に寄与すると期待されている。

4). 格差の少ない教育の提供の促進

スリランカ国の初等・中等教育は地域、学校規模により格差が生じている。この格差は、生徒の能力、貧富の差も要因であるが、学校施設設備や教員の教職専門技術の差によるところが大きい。教職専門技術を受けた正式教員と受けていない代用教員の技術差である。教員養成の強化による教職専門教育の普及や学校教育の管理運営が強化されることにより、格差の少ない教育をスリランカ全土へ提供することが促進される。

また、障害者に対する特殊教育の研究や教員の養成が拡充されることにより、障害者に対しても一般児童への教育内容に近い教育の提供が促進される。

5). 施設集中化、拡充によるNIEの活動の拡充

NIEは設立後まだ日が浅く、また各部門が3カ所に分散しているため、各部門の有機的結合が不足しており統一教育研修・研究機関として、十分な活動ができていない。

また、主キャンパスであるNIEマハラガマも施設は有るものの分散配置されており、老朽化も著しい。

NIEマハラガマ内の施設を整理し、他のキャンパスからの移設も含め集中配置による有機的結合を持つ施設に拡充されれば、NIEの機関の90%が集中することとなるNIEマハラガマの各部門のつながりが強化され、NIEの活動が拡充される。

NIEの活動が拡充されることにより、関連機関の活動も影響を受け、スリランカ国の教育機関全体が活性化することが期待される。

6). 教育関連機関への技術・情報の提供

NIEを含めスリランカ国教育関連機関は、それぞれが担当する研究や調査を行っている。しかし、いずれの機関も施設、機材とも貧弱で、研究者の数及び技術的知識も不足している。NIEが拡充され実用的な研究、調査が強化されることにより、教育研究、調査等の技術的ノウハウや情報を提供することができるようになり、教育関連機関の業務の促進がはかられる。

7). NIEの教育関連機関への調整能力の強化

NIE職員の研究、研修技術の向上により、NIEの持つ技術的ポテンシャルが高まり、NIEの教育分野における各教育関係機関への調整能力の向上がはかれる。

8). 教育政策・方針策定への支援

今迄の教育政策・方針等の実施結果・評価の研究、諸外国の事例研究、他の国家政策との整合性の研究、社会的ニーズの研究等をNIEは総合的に行う機能を有しており、これら調査研究の実施により教育政策・方針策定への支援が可能となる。

(2). 事業の妥当性

スリランカ国政府の要請内容をNIEと協議するとともに、現地調査及び国内解析を行い、第3章の計画をとりまとめた。その内容に沿って、「国立教育研修・研究所」拡充計画を実施することの妥当性を、財政、維持管理及び運営体制の面から検討したところ、以下のように、計画を実施する妥当性はきわめて高いと判断される。

1). 財政面について

本計画の実施に必要なスリランカ側負担工事の予算措置についてスリランカ側は、既存建物撤去・整地は1989年度の特別予算枠、他の負担工事は1990、1991年度予算にて確保すると明言しており問題はないと判断される。

本計画施設完成後の維持管理費は、前述の通り年間約27.2百万ルピーとなる。このうち人件費については既に273名の増員計画(438名を1.6倍の710名とする)のうち87名の採用が1989年度予算枠で確保されている。さらに、残りの186名についても1991年度末迄に採用される予定で、1991年度予算では1988年度予算人件費枠9.9百万ルピーの3.8倍に当たる38.2百万ルピーの人件費枠が計画されており、273名の増員分を含めた人件費が確保できる計画となっている。

	1987	1988	1989	1990	1991
人件費予算 (ルピー)	2,322,843	9,861,286	21,205,125	31,181,543	38,198,372

施設維持費予算は、施設開所予定の1992年には維持費5.5百万ルピー、光熱費2.3百万ルピー、計7.8百万ルピーが計画されており、これは前述3-3-5で試算した5.3百万ルピーを上廻っており妥当な計画と判断できる。

	1988	1989	1990	1991	1992
維持費予算 (ルピー)	327,372	603,180	820,377	3,514,601	5,465,896
光熱費予算 (ルピー)	1,549,751	1,616,575	1,890,707	2,024,300	2,325,108

NIE全体の予算計画は前述表3-2-3の通りであり、1992年度予算は1988年度予算109百万ルピーの2倍の225百万ルピーが計画されており、運営維持管理費の確保に問題はないと判断される。

2). 維持管理について

本拡充計画の施設、機材計画は、維持管理費が少なくすむように配慮されており、また、各種機材のうちスリランカ国で入手しにくいスペアパーツなどは、計画段階で予め相当量見込んである等、施設完成後の維持管理が容易になるよう計画されている。機材は修理・維持管理などがスリランカ国内で行えるものを可能な限り選択している。

NIEは、現在保有している機材の維持管理については長年の経験を有しており、本計画で供与される機材が現在の職員の技術レベルに見合っていることから、短期間の研修で習熟できるものが多く、維持管理に問題はないと判断される。

3). 運営体制について

NIEがこれまで進めてきた研修、研究の拡充に際しては、現在の職員数438名を1989年度には710名に増員することとなっている。新規増員は、文部省所轄下の職員の移動及び求人によって行うこととなっている。既に、1989年4月に87名の学術職員の採用が内定しており、残りの職員の採用も施設拡充迄には完了する予定である。新規増員を含め運営体制の拡充は施設拡充迄に完了し、施設、機材の引渡し時点で、取扱い説明等も各々直接の担当者に対して行えるため、引渡し後の運営体制上の問題はないと判断される。

(3). 結論

スリランカ国立教育研修・研究所(NIE)は1986年1月、それまでスリランカ各地に散在していた文部省傘下の教育研究、教員研修及び教材開発諸機関を統合し発足した。統合の目的は各機関の集中配置を通じて初等・中等教育の振興の為のカリキュラム開発、教員及び教育管理職員養成、ニューメディアの教育活動への採用等多岐にわたる事業を有機的に結合し、教育の発展を促進しようとするものである。

NIEの主要部門は、首都コロンボ近郊に位置する旧マハラガマ師範学校跡地に置かれているが、施設、機材の老朽化と不足により、現状の施設、機材ではこれ以上の事業の拡充は望めないため、スリランカ国政府は「国立教育研修・研究所拡充計画」を策定した。

この拡充計画の実施により、今迄NIEが実施してきた研修、研究活動を強化、拡充し初等・中等教育の質的向上を実現するとともに、教育により優秀な人材を養成し、ひいては同国の経済開発政策の推進につながることを期待されている。本拡充計画は、単に教育の発展に貢献するだけでなく、スリランカ国の経済開発に寄与し、健全な社会開発を実現するうえでも極めて大きな役割を果たすと思われる。

このように、本計画は、広く社会経済の健全な発展に寄与するものであることから、本計画を無償資金協力で実施することは極めて妥当であると判断される。さらに、本計画の運営、管理についても、相手国側体制は人員、資金共に充分であり、問題は無いと考えられる。しかし、以下の点が改善・整備されれば本計画はより円滑かつ効果的に実施し得るであろう。

(4). 提言

1). 計画的な運営

- 研究成果及び実施された研修の評価が研究および研修の推進、改善へ結びつくため、企画室での研修評価、研究評価手法の開発が望まれる。
- NIEの各部の有機的結合が図られれば、その相乗効果により、計画以上の効果が期待できるため、有機的なつながりを持つ運営計画の策定が望まれる。

2). 関連機関との協力

NIEの活動を充実させるためには、国内外の教育機関との密接な情報交流が必要である。

3). 維持・管理上の提言

- 本施設を有効に運用するためには、スリランカ国側の設備および各種機材を維持管理する専任の技術者を据付時点から参入させ、引渡し以前にその特性、機能を把握できる体制作りが望まれる。
- 施設、機材の維持管理費が研修、研究に及ぼす影響は大きく、NIEの有効利用のためにも毎年十分な予算の確保が望まれる。

4). スリランカ国側措置・工事

- 本計画を円滑に推進するためには、入札、契約、銀行取極め、通関等の手続きが迅速に処理されることが望まれる。
- 計画敷地内の既存建物撤去・整理が日本側工事の開始前に完成することが望まれる。また、植栽、家具、什器の購入も、施設完成時に完了することが望まれる。

5). 運営予算

NIEにおける事業活動は国家財政と密接に関係しているため、的確な予算措置が極めて重要である。

6). 技術協力

NIEの機能を効率的に発揮させるため、我が国から専門家派遣等による技術協力の実施が望まれる。

資料編

1. 調査団の構成
2. 調査日程
3. 面談者リスト
4. 協議議事録
5. 建設予定地状況
6. 機材基本設計案
7. NIEの活動状況(1986~1988)

1. 調査団の構成

1-1. 基本設計調査団

1-2. ドラフト・ファイナルレポート説明調査団

1. 調査団の構成

1-1. 基本設計調査団(1989年2月18日～3月9日)

団長	相良 憲昭	国立教育研究所企画調整官
教育計画	萩原 久和	文部省大臣官房文教施設部計画課 課長補佐
教育機材計画	内海 成治	国際協力事業団国際協力総合研修所 国際協力専門員
建築計画	平田 恭輔	(株)久米建築事務所
建築設計	松原 忠	(株)久米建築事務所
設備計画	中林 茂	(株)久米建築事務所
機材計画	久保田 修平	(株)久米建築事務所

1-2. ドラフト・ファイナルレポート説明調査団(1989年6月8日～6月16日)

団長	宮本 繁雄	国立教育研究所企画調整部長
教育計画	萩原 久和	文部省大臣官房文教施設部計画課 課長補佐
建築計画	平田 恭輔	(株)久米建築事務所
建築設計	松原 忠	(株)久米建築事務所
機材計画	久保田 修平	(株)久米建築事務所

2. 調査日程

2. 調査日程

2-1. 基本設計調査団日程(1989年2月18日~3月9日)

日順	月 日	曜日	調査内容	
1.	2月18日	土	成田空港 → バンコク空港着(TG641)	
2.	2月19日	日	バンコク空港 → コロンボ空港着(TG307)、団内会議	
3.	2月20日	月	JICAスリランカ事務所表敬、調査日程打合せ、計画敷地踏査、団内会議	
4.	2月21日	火	日本大使館表敬、調査日程打合せ、外国援助局表敬、MOE表敬、NIEと全体会議、団内会議	
5.	2月22日	水	MOE次官表敬、計画内容協議、団内会議	
6.	2月23日	木	計画内容協議	
7.	2月24日	金	計画内容協議、前文部大臣表敬	
8.	2月25日	土	団内会議、資料整理、検討 建設資材調査	類似施設(キャンディ)視察 (萩原、内海、久保田団員)
9.	2月26日	日	建設資材調査、資料検討	
10.	2月27日	月	JICAスリランカ事務所、日本大使館へ調査経過報告 ミニッツ内容協議、カリキュラム開発部門(コロンボ)視察	
11.	2月28日	火	ミニッツ内容確認、ミニッツ署名	
12.	3月1日	水	相良団長、萩原、内海団員帰国(TG308) 計画内容協議、計画敷地踏査、資料検討	
13.	3月2日	木	計画内容協議、資料検討	
14.	3月3日	金	計画内容協議、資料検討	
15.	3月4日	土	建設資材調査、資料検討	
16.	3月5日	日	建設資材調査、資料検討	
17.	3月6日	月	建設資材調査、資料検討	
18.	3月7日	火	JICAスリランカ事務所、日本大使館調査経過報告、計画内容協議	
19.	3月8日	水	コロンボ空港 → バンコク空港着(TG308)	
20.	3月9日	木	バンコク空港 → 成田空港着(TG640)	

2-2. ドラフト・ファイナルレポート説明調査団日程(1989年6月8日～6月16日)

日順	月 日	曜日	調査内容
1.	6月8日	木	成田空港 → コロンボ空港着(UL455)
2.	6月9日	金	JICAスリランカ事務所表敬、調査日程等打合せ、 日本大使館表敬、調査日程等打合せ、外国援助局表敬、 MOE次官表敬、 ドラフトファイナルレポート提示
3.	6月10日	土	ドラフトファイナルレポート内容協議 計画敷地踏査
4.	6月11日	日	建設資材補足調査
5.	6月12日	月	ドラフトファイナルレポート内容問題点協議、団内会議
6.	6月13日	火	文部大臣表敬、協議、団内会議 宮本団長帰国(SQ401)
7.	6月14日	水	ドラフトファイナルレポート内容問題点協議 ミニッツドラフト協議 JICAスリランカ事務所、日本大使館、外国援助局へ調査内容報告
8.	6月15日	木	コロンボ空港 → バンコク空港着 (UL422)
9.	6月16日	金	バンコク空港 → 成田空港着 (TG640)

3. 面談者リスト

3. 面談者リスト

● スリランカ国側関係者

□ 経済計画省・外国援助局

Mr. Senarat Weerapana

Assistant Director of External Resources

□ 文部省

Mr. W.J.M. Lokubandara

Minister

Ms. Sunethra Ranasinghe

State Minister of Education

Mr. Walter Laduwahetty

Secretary

Mr. A. P. Abeysinghe

Director of School Works

Mr. D. Amarasinghe

Project Manager, [ADB] Rehabilitation Project

Ms. Saroja Lokuketagoda

Architect, School Works Branch

□ 国立教育研修・研究所

Mr. D. A. Perera

Director General

Mr. A. Subasinghe

Secretary

Mr. M. A. De Silva

Assistant Director General,

Curriculum Design & Development

Mr. W. S. Perera

Assistant Director General,

Evaluation & Technical Education

Mr. J. P. Herath

Director, Science and Mathematics

Ms. C. M. Abhayadeva

Director, Primary Education

Dr. S. D. L. Amaragnasekara

Director, Institute of Distance Education

Dr. (Ms.) P. K. D. P. Kudaligama

Director, Institute of Teacher Education

Mr. N. A. C. Gunatilake

Director, Audio Visual Media Centre

Ms. W. P. P. Abeydeera

Director, Planning

Mr. C. M. Ariyawansa	Director, Sri Lanka Staff College for Educational Administration
Mr. G. Wijesuriya	Director, Evaluation
Ms. Lakshmi K. Cumararatunge	Director, Higher Institute for English Education
Mr. T. D. D. Gunasekera	Director, Library and Documentation Services
Mr. U. S. P. Senaratna	Director, Technical Education Project
Mr. A. S. Weeraratne	Director, Administration
Mr. P. G. R. C. Piyadasa	Director, Engineering Services
Mrs. Fernando	Deputy Director, Staff college for Educational Administration
Mr. G. R. Kumarasiri	Deputy Director, Computer Education
Mr. A. D. Gunasekera	Chief Project Officer, Institute of Teacher Education
Mr. P. K. Palangasinghe	Chief Project Officer, Technical Skills
Mr. N. G. Kularatna	Chief Project Officer, Research
Mr. C. N. Fernando	Chief Project Officer, Science & Mathematics
Mr. A. D. Fernando	Chief Project Officer, Science & Mathematics
Mr. R. Francisco	Project Officer, Agriculture
Mr. B. L. Rajapaksa	Academic Head, Special Education Unit

□ その他

Mr. Ranil Wickramasinghe	Minister of Industries (Former Minister of Education)
Mr. E. L. Wijemanna	Former Secretary, Ministry of Education

● 日本側関係者

□ 日本大使館

高田 稔久

桜又 正士

久保田 英

参事官

二等書記官

二等書記官

□ JICAスリランカ事務所

安木 秀夫

新納 宏

所長

副所長

□ NIE

荒川 哲郎

国際協力事業団国際協力総合研修所

国際協力専門員

4. 協議議事録

4-1. 協議議事録(基本設計調査時)

(1989年2月27日署名)

4-2. 協議議事録(ドラフト・ファイナルレポート説明時)

(1989年7月17日署名)

MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
THE PROJECT
FOR
ESTABLISHING THE NATIONAL INSTITUTE OF EDUCATION
IN
THE DEMOCRATIC SOCIALIST REPUBLIC OF SRI LANKA

In response to the request of the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka, the Government of Japan decided to conduct a basic design study on the Project for the development of the National Institute of Education and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA). JICA sent to the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka the Study Team headed by Mr. Noriaki Sagara, Deputy Director of Overall Planning and Co-ordination, National Institute for Educational Research, Ministry of Education, Science and Culture from February 18 to March 9, 1989.

The Team had a series of discussions on the Project with the officials concerned of the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka headed by Mr. Walter Laduwahetty, Secretary, Ministry of Education, Cultural Affairs and Information, and conducted field surveys.

As a result of the study, both parties agreed to recommend to their respective Governments that the major points of understanding reached between them, as attached herewith, should be examined towards the realization of the Project.

Colombo, February 27, 1989.



NORIAKI SAGARA
Leader,
Basic Design Study Team,
Japan International Cooperation
Agency.
JAPAN.



WALTER LADUWAHETTY
Secretary,
Ministry of Education,
Cultural Affairs and
Information,
SRI LANKA.

A T T A C H M E N T

1. Objective of the Project:

The objective of the Project is to construct the facilities and to supply the educational equipment for the activities of the National Institute of Education (NIE) of Sri Lanka.

2. Organisations:

Responsible Organisation :

Ministry of Education, Cultural Affairs and Information.

Executing Organisation :

National Institute of Education.

3. Project Site:

The Government of Sri Lanka will provide with the necessary land area for the Project on the Maharagama Campus of NIE, which is shown in the Annex I.

4. The Requested Items for the Project:

The outline of facilities and equipment to be provided under this Project is as follows :

(1) Facilities:

A building complex for the NIE, of which details are shown in the Annex II. A total volume of the space of those facilities will be determined in due course.

In addition, the Government of Sri Lanka expressed its desire that the Project would also include the training facilities for the Programme 2. (Curriculum Design and Development).

(2) Equipment:

Such equipment related to research and training activities of NIE.

5. Japan's Grant Aid System:

The Government of Sri Lanka has understood the system of Japan's Grant Aid explained by the Team, which includes a principle of the use of a Japanese consultant and Japanese firms for the execution of the Project.

R

W.L. 28/1/83

6. Measures to be taken by the Government of Sri Lanka:

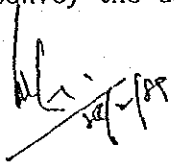
The Government of Sri Lanka will take the necessary measures as listed in Annex III, on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

7. Budget and Personnel:

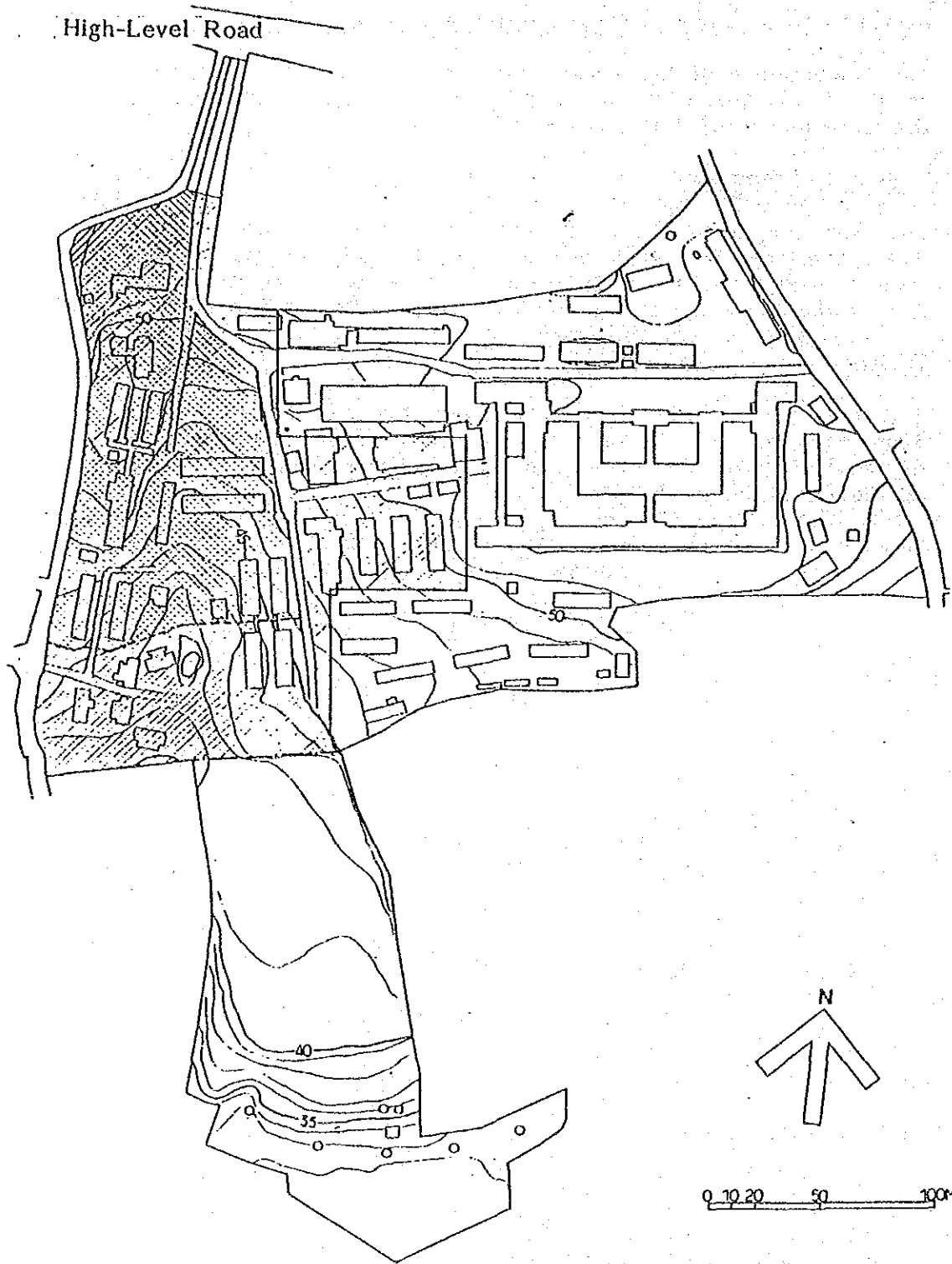
The Government of Sri Lanka will assure the necessary budget and personnel for the operation and maintenance of the facilities and equipment provided, on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

8. Others:

The Government of Sri Lanka requests the Government of Japan to conduct technical co-operation for the activities of the NIE. The Team will convey the above mentioned request to the Government of Japan.



ANNEX I



Project site



Additional site proposed
by the Government of Sri Lanka,
in case of necessity

NATIONAL INSTITUTE OF EDUCATION, MAHARAGAMA

Handwritten signature and date:
28/2/89

Handwritten mark:

A N N E X II

The facilities to be constructed under this Project will accommodate all or a part of the following NIE institutions :

1. Programme 1. (Professional Development of Educational Personnel)
 - (a) Staff College for Educational Administration.
 - (b) Institute of Distance Education.
 - (c) Institute of Teacher Education (including Special Education Resource Centre).
2. Programme 3. (Educational Technology)
 - √ (a) Library and Documentation.
 - (b) Computer Education.
 - (c) Audio-Visual Media Centre.
 - (d) Publications.
3. NIE Headquarters (Management and Co-ordination)
 - (a) Offices of the Director-General and the Deputy Director-General.
 - (b) Secretarial and General Services.
 - (c) Planning.
 - (d) Research.
4. Other Related Facilities including :
 - (a) Training rooms.
 - (b) Seminar rooms.
 - (c) Multi-purpose lecture hall, etc.

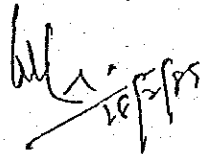
AD

W. V. P. S.

A N N E X III

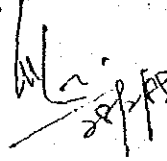
Necessary measures to be taken by the Government of Sri Lanka.

1. * To clear level and reclaim the site.
2. * To construct retaining walls and fences around the site.
3. * To improve access road to the site.
4. * To divert the existing in-site ditch and to improve the existing drainage system around the site.
5. * To provide facilities for the distribution of electricity, water supply and other incidental facilities.
 - (a) Power distribution line to the site.
 - (b) Water supply (deep wells).
 - (c) Telephone trunk line.
6. * To secure building permit and to bear its fees.
7. To provide the following upon completion of the facilities:
 - (a) Landscaping.
 - (b) Exterior lightening.
 - (c) General furniture (carpets, curtains, tables, chairs and others).
8. To bear the following commissions to the Japanese foreign exchange bank for the banking services based upon the B/A.
 - (a) Advising commission of A/P.
 - (b) Payment commission.
9. To ensure tax exemption and customs clearance of the products at the port of disembarkation.
10. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contracts such facilities as may be necessary for their entry into Sri Lanka and stay therein for the performance of their work.
11. To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in Sri Lanka with respect to the supply of the products and services under the verified contracts.



12. To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment under the verified contracts.
13. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant, necessary for construction of the facilities as well as for the transportation and installation of the equipment.
14. To bear all the expenses necessary for relocation of the existing equipment to be used in the new facilities.

Note : Items marked with (*) should be completed before the start of construction of the facilities.



MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
THE PROJECT
FOR
EXPANDING THE NATIONAL INSTITUTE OF EDUCATION
IN
THE DEMOCRATIC SOCIALIST REPUBLIC OF SRI LANKA

In response to the request of the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka, the Government of Japan decided to conduct a basic design study on the Project for expanding the National Institute of Education(hereinafter referred to as "the Project") and the Japan International Cooperation Agency(JICA) sent to the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka a Basic Design Study Team headed by Mr. Noriaki Sagara, Deputy Director of Overall Planning and Co-ordination, National Institute for Educational Research, Ministry of Education, Science and Culture from February 18 to March 9, 1989.

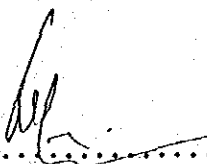
As a result of the study, JICA prepared a Draft Final Report and dispatched a team headed by Mr. Shigeo Miyamoto, Director, Dept. of Overall Planning and Co-ordination, National Institute for Educational Research, Ministry of Education, Science and Culture to explain and discuss the report with relevant officials of the Government of Sri Lanka from June 9th to 13th, 1989.

Both parties had a series of discussions on the Draft Final Report and agreed to recommend to their respective Governments that the major points of understanding reached between them, attached herewith, should be examined towards the realization of the Project.

Colombo, July 17th, 1989



H. Yasuki - Resident Representative
Japan International Cooperation Agency
Sri Lanka Office

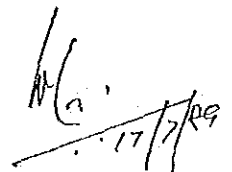



Walter Laduwahetty
Secretary,
Ministry of Education,
Cultural Affairs and Information,
Sri Lanka

for Shigeo Miyamoto
Leader, Basic Design Study Team,
Japan International Cooperation Agency
Japan

ATTACHMENT

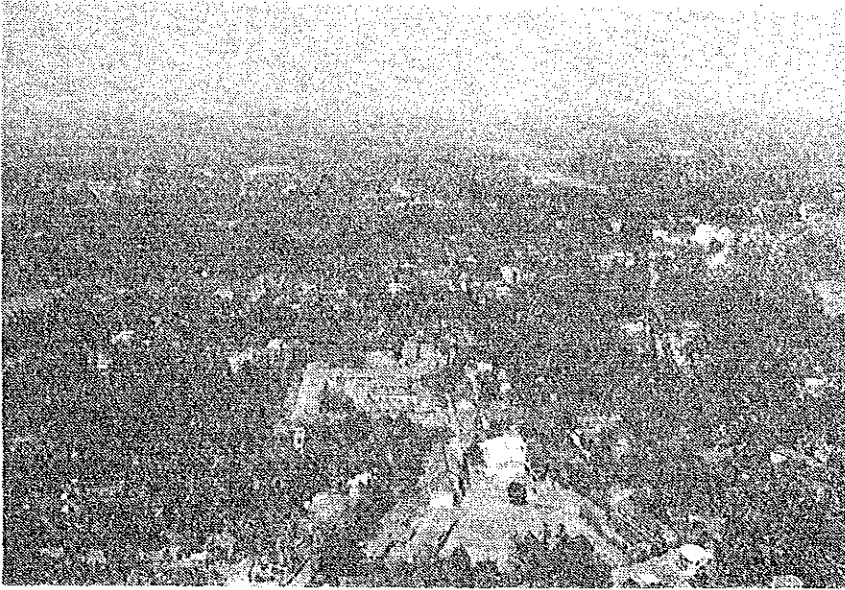
1. The Sri Lanka side agreed in principle on the basic design proposed in the Draft Final Report.
2. Taking the actual conditions into account, both parties agreed that the Project title be as follows: Project for Expanding the National Institute of Education in the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka.
3. The Sri Lanka side has understood Japan's grant aid system and reconfirmed that necessary measures which are listed in Annex 111 of the Minutes of Discussions on the Project signed on February 27, 1989, will be taken by the Sri Lanka side on condition that the grant aid by the Government of Japan is extended to the project.
4. The Sri Lanka side ensured that the necessary budget and the adequate number of personnel for the proper and effective operation and maintenance of the NIE facilities and equipment provided under the Project would be secured.
5. The Final Report(10 copies in English) will be submitted to the Sri Lanka side at the beginning of August, 1989.



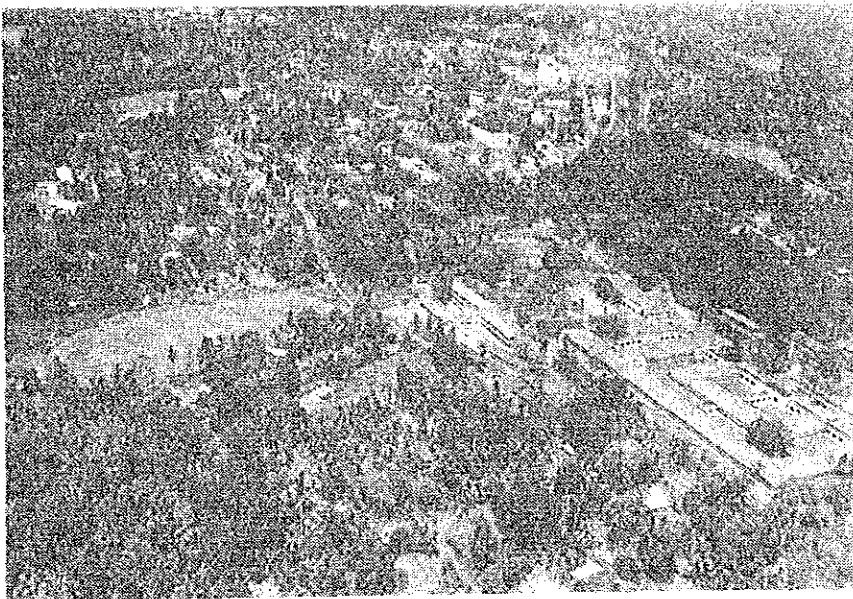
17/7/89

5. 建設予定地状況

5. 建設予定地状況

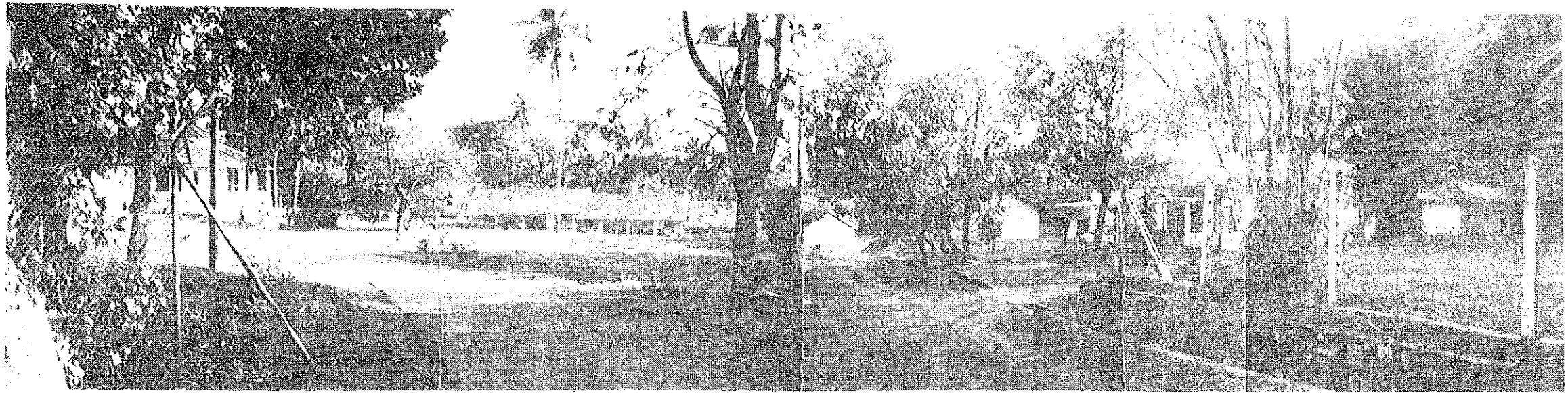


NIEマハラガマ敷地



NIEマハラガマ敷地

6. 機材基本設計案



建設予定地北側(寄付道路より)



建設予定地西側



建設予定地東側(寺院を望む)

6. 機材基本設計案

[第1期]

- I. 教員養成部
- II. 教育図書資料部
- III. 教育出版部
- IV. その他

[第2期]

- I. コンピュータ教育部
- II. 視聴覚教育部
- III. 理科実験用機材
- IV. 技術家庭科用機材
- V. その他

[第1期]

I. 教員養成部

名 称	数 量
[聴覚検査用機材]	
1. 幼児音場聴能装置	
コントロール装置	1
スピーカ	4
パワーアンプ	2
収納ラック	1
騒音計システム	1
カセットデッキ	1
ワイヤレスマイク	2
ワイヤレスアンテナ	1
ワイヤレスチューナー	1
モニタスピーカ	1
2. 聴能訓練用補聴器	1
3. 集団補聴器	1
4. 補聴器(ボックス型)	10
5. 補聴器(耳かけ型)	10
6. オーディオメータ(小児検査用)	1
7. オーディオメータ(診断用)	1
8. インピーダンスオーディオメータ	1
9. 精密騒音計システム	1
10. 検査用机	2
11. 同上用椅子	3
12. VTR	1
13. モニターTV	1
14. 同上用台	1

名 称	数 量
[視覚検査用機材]	
1. 検眼レンズセット	1
2. 視力表	1
3. 視野計	1
4. レンズメーター	1
5. 弱視トリアルセット	1
6. 弱視レンズトリアルセット 4~10倍ケブラー式	1
7. 弱視レンズトリアルセット 2~20倍ガリレオ式	1
8. 弱視単眼トリアルセット 3~8倍長焦点	1
9. ビジョンスキャナー	1
10. 単一視力表	1
11. ルーベ及単眼鏡・双眼鏡類	1
12. オートレフラクトメータ	1
13. サーモフォーム点字複写機	1
14. パーキンスプレーラー(手動)	3
15. パーキンスプレーラー(電動)	2
16. VTR	1
17. モニターTV	1
18. 同上用スタンド	1

名 称	数 量
[行動監視用機材]	
1. 監視カメラ	1
2. カメラコントロールユニット	1
3. 10倍ズームレンズ	1
4. 回転雲台	1

名 称	数 量
5. リモートコントローラー	1
6. 記録用TVカメラ	1
7. ポータブルVTR	1
8. ACパワーアダプター	1
9. バッテリーパック	5
10. キャリングケース	1
11. リモートコントローラー	1
12. カメラケーブル	2
13. 三脚/ドリ付	1
14. 低位置用三脚/ドリ付	1
15. VTRケーブル	1
16. コントロールデスク	1
17. 白黒モニターTV	2
18. カラーモニターTV	2
19. 録音用VTR	1
20. 同上用リモートコントローラー	1
21. コントロールパネル	2
22. ビデオエフェクトジェネレーター	1

II. 教育図書資料部

名 称	数 量
1. VTR	6
2. モニターTV	6
3. ポータブルスライド	6
4. フォトコピー機	1
スベアパーツ/アクセサリ	1
消耗品	1

Ⅲ. 教育出版部(印刷/コピー用機材)

名 称	数 量
[印刷室]	
1. 蝶合+ワイヤーステッチマシン	1
同上用アクセサリ-/スペア パーツ2年分	1
2. 折り機	1
同上用アクセサリ-/スペア パーツ2年分	1
3. のり付け機	1
同上用アクセサリ-/スペア パーツ2年分	1
4. ギロチン	1
同上用アクセサリ-/スペア パーツ2年分	1
5. ハンドカート	2
6. 印刷室機材用消耗品類1年分	1
7. 印刷機器用工具	1

名 称	数 量
[製版コピー室]	
1. 焼ワク	1
同上用アクセサリ-/スペア パーツ2年分	1
2. プレート製版機	1
同上用アクセサリ-/スペア パーツ2年分	1
3. 青焼機	1
同上用アクセサリ-/スペア パーツ2年分	1

名 称	数 量
4. フォトコピー機	2
同上用アクセサリ-/スペア パーツ2年分	2
5. ステンシルスキャナー	2
6. ステンシルデュプリケータ	3
7. 製版コピー室機材用消耗品類1年 分	1

名 称	数 量
[暗室]	
1. プロセスカメラ	1
同上用アクセサリ-/スペア パーツ2年分	1
2. 自動フィルム現像機	1
同上用アクセサリ-/スペア パーツ2年分	1
3. 消耗品類1年分	1
4. 暗室用流し台	1
5. ステンレス作業台	1

名 称	数 量
[原稿製作室]	
1. ワードプロセッサ-メインユ ニット	3
メモリーエクспанション	3
ハードディスク	3
ソフトウェア	3

名 称	数 量
2. レーザープリンター	1
システムコネクター	1
イメージスキャナー	1
イメージインプットソフト	1
メモリーエクспанション	1
3. レイアウトテーブル台付	2
4. ドラフター	2
5. コンピュータプリンターデスク	4
6. 同上用椅子	3
7. レイアウトテーブル用椅子	2
8. ワープロ用消耗品	1

IV. その他

名 称	数 量
1. 総合据付用機材・材料	1

[第2期]

I. コンピュータ教育部

名 称	数 量
[コンピュータ訓練室]	
1. 教師用コンピュータユニット	1
シップグループ/キーボード	1
カラーディスプレイ	1
トークンリングネットアダプター	1
ネットアダプターケーブル	1
プリンター	1
プリンターケーブル	1
オペレーションソフト	1
2. 端末コンピュータユニット	16
キーボード	16
カラーディスプレイ	16
トークンリングネットアダプター	16
ネットケーブル	16
プリンター	16
プリンターケーブル	16
オペレーションソフト	16
3. 集線装置	2
4. 映像信号用インターフェース	1
5. 天吊用スキャニングVP	1
6. 同上用コントローラー	1
7. OHP/台付	1
8. スクリーン天吊	2
9. コンピュータデスク	17
10. 同上用椅子	33

名 称	数 量
[ソフト開発室]	
1. 業務用コンピュータユニット	4
シップグループ/キーボード	4
カラーディスプレイ	4
プリンター	4
プリンターケーブル	6
2. コンピュータデスク	4
3. 同上椅子	4
4. オペレーションソフト	4
5. プリンターセクター	2
6. CAI開発用ソフト	4
7. プリンター機	2

II. 視聴覚教育部

名 称	数 量
[スタジオ設備]	
A. スタジオ調整室機材	
1. カメラヘッド	2
2. ズームレンズ	2
3. レンズケーブル	2
4. ビューファインダ	2
5. 三脚アダプター	2
6. リモートコントロールユニット	2
7. 操作ユニット	3
8. カメラケーブル	3
9. ベダスタルドリー	2
10. カムヘッド	2
11. ヘッドセット	3

名 称	数 量
12. カラーモニター 10"	8
13. カラーモニター 20"マスター用	2
14. カラーモニター 21"	1
15. カラーモニター 15"	4
16. ベクトルスコープ	1
17. ウェーブフォームモニター	1
18. 白黒モニター 9"	1
19. 編集ソースVTR	2
20. 編集用VTR	1
21. 編集コントローラ	1
22. VTRインターフェース	1
23. コントロールケーブル 45芯	1
24. コントロールケーブル 9芯	3
25. タイムベースコレクター	2
26. ビデオスイッチャー	1
27. RGBクロマキーヤー	1
28. デイレイユニット	1
29. テロップ白黒カメラ	1
30. マニュアルズームレンズ	1
31. クローズアップレンズ	1
32. テロプスタンド	1
33. 同上テーブル	1
34. ビデオタイプライター	1
35. 白黒モニター 9"	1
36. 同上用カラーモニター 15"	1
37. シンクジェネレーターメインユニット	1
38. モジュールエクステンダー	1
39. ビデオ信号分配器	4
40. 同期信号分配器	1
41. オーディオミキサー	1

名 称	数 量
42. マスターカセットレコーダー	1
43. 編集/マスター用オープンテープデッキ	2
44. シンクロナイザー	1
45. シンクロナイザー・コントロールユニット	1
46. ターンテーブル	1
47. スタジオスピーカ	4
48. パワーアンプ	2
49. コンデンサーマイク 単・全指向性	2
50. コンデンサーマイク 超指向性	2
51. ダイナミックマイク	2
52. タイピン型マイク	2
53. マイクスタンドテーブルタイプ	2
54. マイクスタンドフロアタイプ	2
55. マイクスタンドスタジオブーム型	1
56. ヘッドホン	2
57. ビデオ信号ジャックパネル	2
58. ビデオ信号パッチコード	5
59. 音声信号ジャックパネル	2
60. 音声信号パッチコード	5
61. 終端用プラグ	5
62. 無負荷プラグ	5
63. スタジオ用壁コネクター盤 (映像)	1
64. スタジオ用壁コネクター盤 (音声)	1
65. タリーリレーユニット	1
66. インターカムユニット	1
67. モニター用ON-AIRタリー	10
68. デイレイユニット	1

名 称	数 量
69. スタジオモニター用スタンド	1
70. カウキーBOX	1
71. メインコントロールコンソール	1
72. モニターラック	1
73. 機材ラック	2
74. Q-ランプシステム	1
75. ダビング用マスターVTR	1
76. スレーブVTR	10
77. ダビングコントローラ	1
78. タイムベースコレクター	1
79. 映像/音声分配器	1
80. カラーモニターTV10"	2
81. オートコードスイッチャー	1
82. 機材ラック	2
83. 1/2"編集用VTR	1
84. 同上ソースVTR	1
85. エディティングコントローラー	1
86. カラーモニター15"	2
87. タイムベースコレクター	1
88. エディティングコンソール	1
89. 取材用ビデオカメラ	1
90. ビューファインダー	2
91. ズームレンズ	2
92. トリポッドアダプター	1
93. バッテリーパック	2
94. バッテリーアダプター	2
95. バッテリーチャージャー	2
96. マイクロフォン	2
97. VTRケーブル	2

名 称	数 量
98. 三脚ドリー付	2
99. キャリングケース	2
100. ポータブルVTR	2
101. タイムコードジェネレーター	2
102. バッテリーパック	8
103. バッテリーチャージャー	2
104. ポータブルライトキット	2
105. 貸出し用1/2"VTR	3
106. ポータブルライトキット	3
107. VTRテープ類	
3/4"ハイバンド用 60分	50
3/4"ハイバンド用 20分	50
1/2"S-VHS用	200
音声用オープンリールテープ	20
108. 調整室用椅子	5

名 称	数 量
B. スタジオ照明機材	
1. 壁調光盤	1
2. コントローラー	1
3. 固定レール	4
4. 移動レール	4
5. レール固定金具	16
6. トランスファーローラー	12
7. ローラーハンガー 5/8"	30
8. ローラーハンガー 1-1/8"	2
9. ケーブルローラー	32
10. パイプバトン	1

名 称	数 量
11. ホリゾンカーテン	1
12. カーテンレール、ランナー	1
13. カーテンレール固定金具	1
14. ペーパーホリゾンサスペンション	1
15. ペーパーホリゾン 2.7×11m カラー	3
16. ペーパーホリゾン 2.7×45m 白	1
17. フレネルスポットライト 650W	6
18. アッパーホリゾンライト	8
19. フレネルスポットライト 1KW	4
20. クォーツバンドライト	8
21. スカイライト	2
22. スカイバンライト	2
23. スコープライト	2
24. スプリングハンガー	4
25. スタンドキャスタ付	2
26. ランプ類	
Item 17用	20
Item 18用	80
Item 19用	10
Item 20用	30
Item 21用	10
Item 22用	10
27. アウトレットBOX	20
28. プラグIN BOX	4
29. 延長ケーブル 3m	5
30. 延長ケーブル 5m	5
31. スペアパーツ調光盤用	1
32. スペアパーツ燈器用	1

名 称	数 量
[教材製作室及び暗室]	
1. TP作成機	2
2. TP作成用材料	1
3. OHP	1
4. 三脚OHPスクリーン	1
5. フォトコピーマシン	1
スベアパーツ/アクセサリー	1
消耗品	1
6. 製図台/椅子付	2
7. カメラ	2
8. カメラアクセサリー	2
9. 暗室用品	1

Ⅲ. 理科実験用機材

名 称	数 量
[物理実験用機材]	
1. 巻尺	1
2. 測量用巻尺	1
3. 1m物差し	6
4. ノギス	3
5. ねじマイクロメーター	2
6. 読取顕微鏡	1
7. スフェロメーター	2
8. 精密はかり	1
9. ばねはかり 200g 5g目盛	3
10. ばねはかり 200g 2g目盛	3
11. 浮きはかり	1
12. ジョリーばねはかり	1
13. ストップウォッチ	3
14. ストロボ装置	1
15. 電気式ストップウォッチ	1
16. 直流電圧計 3V~300V	3
17. 直流電圧計 250mV~2.5V	3
18. 直流電流計	3
19. 交流電圧計	3
20. 交流電流計	3
21. マイクロアンペア計	3
22. 検流計	3
23. 講義用検流計	1
24. 回路式試験器	4
25. メートルブリッジ	2
26. 直流電位差計	1
27. 抵抗箱	3
28. 試験用発振器	1

名 称	数 量
29. 低周波発振器	1
30. ブラウン管オシロスコープ	1
31. 二現像シンクロスコープ	1
32. 電子式計数装置	1
33. X-Yレコーダ	1
34. 光電スイッチ	1
35. 天体望遠鏡	1
36. 水平垂直現像投影装置	1
37. 科学写真撮影器具	1
38. 実験用てこ	1
39. 滑車	3
40. クランプ付滑車	4
41. 輪軸	1
42. 斜面	1
43. 分銅セット	3
44. 力学実験錘	3
45. 力学台車	6
46. 記録タイマー	3
47. 力学滑走台	1
48. 平面滑走台	1
49. 真空落下実験器	1
50. 同時落下実験器	1
51. 空中衝突実験器	1
52. 慣性実験器	1
53. 回転台	1
54. 遠心力試験用回転台	1
55. ジャイロスコープ	1
56. ヤング率測定器	1
57. エネルギー変換実験器	1
58. 仕事当量実験器	1

名 称	数 量
59. 万有引力実験器	1
60. 小型地振計	1
61. 水波投影装置	1
62. 水平すだれ式波動装置	1
63. 波動説明器	1
64. 波動実験用つまきばね	2
65. 弦定常波実験器	1
66. 単振り子	4
67. つるまきばね	1
68. 水準器	1
69. ヘア比重計	2
70. パスカ原理説明器	1
71. 水圧機	1
72. 密度測定用体	1
73. 浮力実験用体	1
74. トリチェリー実験装置	1
75. マグテブルグ半球	1
76. 真空ポンプ	1
77. 排気盤	1
78. ラジオメーター	1
79. 熱伝導比較装置	1
80. 線膨張試験器	1
81. 金属球膨張試験器	1
82. 蒸気発生器	3
83. 水熱量計	6
84. 水熱量計 抵抗線2種付	1
85. 気体の法則実験器	1
86. 教育用レーザー装置	1
87. レーザー光学台	1
88. 光源装置	1

名 称	数 量
89. 線スペクトル光源装置	1
90. 光学台	1
91. 光学用スリット	1
92. 光学用水槽	1
93. 平面鏡	3
94. とつ面鏡	3
95. おう面鏡	1
96. とつレンズ $f=250\text{m}$	3
97. とつレンズ 短焦点3種組	3
98. おうレンズ	3
99. 光屈折実験用具	1
100. 台形ガラス	6
101. 直面プリズム	6
102. プリズム	6
103. 分光計	1
104. 直視分光器	1
105. ニュートンリング板	1
106. バイプリズム	1
107. グレーチング	1
108. 太陽電池実験器	1
109. 太陽応用実験セット	1
110. 標準音叉	6
111. 共鳴音叉	2
112. オルガン管	1
113. モノコード	1
114. 気柱共鳴装置	1
115. クント実験器	1
116. 棒磁石 MKS鋼	12
117. 棒磁石 アルニコ	6
118. U型磁石	2

名 称	数 量
119. 電磁石	1
120. 磁針	1
121. 方位用磁針	3
122. 伏角方位計	1
123. 磁束計	1
124. 振動磁力計	1
125. 発電棒	3
126. はく検電器	1
127. 起電ばん	1
128. 静電高圧発生装置	1
129. ライデンびん	1
130. 絶縁台	1
131. コンデンサーのエネルギー実験器	1
132. すべり抵抗器	2
133. 二重コイル	3
134. 変圧器	1
135. 単巻可変変圧器	2
136. 誘導コイル	1
137. 放電管用高圧変圧器	1
138. 電磁力実験器	1
139. 電磁力測定器	3
140. 電磁誘導実験装置	1
141. 銅ボルタメーター	3
142. フレーミングの法則実験器	1
143. 小型直巻電動機	1
144. 誘導電動機原理説明器	1
145. 直流交流発電機	1
146. 小型発電機	1
147. スペクトル管	1

名 称	数 量
148. スペクトル支持台	1
149. クロス真空計	1
150. 放電管	1
151. クルックス管	1
152. 電子線回析装置	1
153. 電子比重荷測定装置	1
154. X線装置	1
155. ラウエはん点撮影装置	1
156. 光電管	1
157. 光電効果実験装置	1
158. 電波実験器	1
159. 増幅器	1
160. ミリカン電気素量測定器	1
161. プランク定数測定器	1
162. フランクヘルツ実験器	1
163. ナトリウム吸光器	1
164. 霧箱	1
165. 放射能検知装置	1
166. 実験用密封放射線源	1
167. 実験用保管箱	1
168. ボルタ電池	1
169. ダニエル電池	1
170. 組立て電池	1
171. 電池ホルダー	2
172. リード線セット	1
173. 蓄電池	1
174. 小型電源装置	2
175. 小型電源装置(充電用)	1
176. 真空管用電源装置	1

名 称	数 量
177. 雨量計	1
178. アネロイド気圧計	1
179. 記録温湿度計	1

名 称	数 量
[化学実験用機材]	
1. 上皿天秤	2
2. 自動上皿天秤	1
3. 直示天秤	1
4. 秒時計	2
5. 棒状温度計 -5~105°C	6
6. 棒状温度計 0~360°C	3
7. 純水製造装置	1
8. ふるい	1
9. 取付型コルクポーラ	1
10. コルクプレス	1
11. 鉄製乳鉢	1
12. 鉄製スタンド	4
13. 漏斗台	4
14. ピュレット台	4
15. ビベット台	4
16. レトルト台	4
17. 上下伸縮台	1
18. 三脚	4
19. 試験官立て	6
20. ガスバーナー	3
21. ガラス細工用バーナー	1

名 称	数 量
22. C型クランプ	2
23. アルクールランプ	4
24. 足踏ふいご	1
25. 気体発生装置	1
26. 脂肪抽出器	1
27. 電気水浴器	1
28. 電解装置	1
29. ユージオメーター	1
30. オゾン発生器	1
31. pH計	1
32. ベックマン分子量測定器	1
33. 光電比色計	1
34. 偏光計	1
35. ビベット洗浄器	1
36. 自動試験管洗浄器	1
37. 試験管乾燥器	1
38. 電気定温乾燥器	1
39. 電気るつぼ炉	1
40. 自動かきませ機	1
41. 小型自動かきませ機	1
42. 電動遠心分離機	1
43. 電気定温水槽	1
44. フラスゴヒーター	1
45. 投げ込みヒーター	1
46. 可搬型乾燥台	1
47. 全自動乾燥保管庫	1
48. 劇薬用薬品庫	2
49. 結晶構造組立セット	1
50. 吹管	6

名 称	数 量
51. 実験用ガラス器具	1
52. 実験用薬品類	1

名 称	数 量
[生物実験用機材]	
1. 巻尺 2m	1
2. 測量用巻尺 50m	2
3. 1メートル物差し	6
4. 対物マイクロメータ	1
5. 接眼マイクロメータ 50mm	1
6. 接眼マイクロメータ 100mm	1
7. 精密はかり	1
8. 直示天秤	2
9. 上皿天秤	2
10. 秒時計	1
11. 棒状温度計 -5~105°C	6
12. 棒状温度計 0~360°C	2
13. コルクポーラ	1
14. 遠心分離機	1
15. 鉄製スタンド	12
16. 漏斗台	12
17. ピュレット台	12
18. ピベット台	12
19. 三脚	12
20. 試験官立て	10
21. C型クランプ	2
22. ガスバーナー	6

名 称	数 量
23. ガラス細工用バーナー	1
24. 顕微鏡(上級)	1
25. 顕微鏡(中級)	12
26. 解剖顕微鏡	8
27. 双眼実態顕微鏡	4
28. 顕微鏡TV装置	2
29. 双眼鏡	1
30. スポッティングスコープ	1
31. 解剖器(上級)	1
32. 解剖器(中級)	15
33. 解剖皿	9
34. バット	9
35. キモグラフ	1
36. マルキールマグネット	1
37. 心臓かん流装置	1
38. 浸透圧実験器	1
39. トーマ血球計算器	1
40. 比色計	1
41. 植物呼吸用マノメータ	1
42. 光合成実験器	1
43. 呼吸作用実験器	1
44. 植物成長計	3
45. 植物回転装置	1
46. 胴乱	1
47. 野冊	1
48. 根掘り	1
49. せていばさみ	1
50. 高枝ばさみ	1
51. 花ばさみ	1

名 称	数 量
52. 捕虫網	1
53. 水網	1
54. 毒つぼ	1
55. 三角ケース	1
56. 昆虫採集箱	1
57. いそ採集用具	1
58. プランクトンネット	1
59. 柄付小型プランクトンネット	1
60. さく葉標本製作セット	2
61. 展示板	3
62. DNAモデル	2
63. 簡易ミクロトーム	1
64. アクアリウム	1
65. アクアリウム用水温調節器	5
66. アクアリウム用エアポンプ	5
67. テラリウム	3
68. 昆虫飼育箱	3
69. 小鳥飼育箱	1
70. 噴霧器	1
71. 園芸用具	2
72. プレパラート植物組織	1
73. プレパラート動物組織	1
74. プレパラートカビ、キノコ組織	1
75. プレパラート細胞分裂	1
76. プレパラートプランクトン	1
77. 電気定温乾燥器	1
78. 電気定温器	1
79. 乾熱滅菌器	1
80. オートクレーブ	1
81. 冷蔵庫	1

名 称	数 量
82. 無菌箱	1
83. 電気泳動装置	1
84. 上記用試薬用具セット	1
85. クロマトグラフ装置	1
86. 温度勾配装置	1
87. 電気低温定温器	1
88. 微生物実験セット	1
89. ルクス計	1
90. 雨量計	1
91. pH計	1
92. 実験用ガラス器具類	1
93. 実験薬品類	1
94. 動物化石標本	1
95. 植物化石標本	1
96. 無セキツイ動物分類標本	1
97. セキツイ動物骨格標本	1
98. セキツイ動物解剖標本	1
99. 無セキツイ動物解剖標本	1
100. セキツイ動物脳比較標本	1
101. セキツイ動物心臓比較標本	1
102. セキツイ動物動物神経標本	1
103. 心臓解剖標本	1
104. 肺解剖標本	1
105. ホ乳類眼球解剖標本	1
106. セキツイ動物消化器解剖標本	1
107. 筋肉・間接解剖標本	1
108. セキツイ動物発生順序標本	1
109. 寄生虫標本	1
110. カエル発生順序標本	1
111. 植物分類標本	1

名 称	数 量
112. 海草分類標本	1
113. 体細胞分裂模型	1
114. 減数分裂模型	1
115. ウニの発生順序模型	1

名 称	数 量
[実験室設備 2室分]	
1. 中央実験台	6
2. サイド実験台	2
3. 実験用流し台	6
4. 移動黒板	2
5. OHP/台付	2
6. OHPスクリーン	2
7. 実験台(準備室用)	1
8. 薬品庫	4
9. 機材保管用キャビネット	16

IV. 技術家庭科用機材

名 称	数 量
[家庭科実習室]	
1. 実習作業台	4
2. 教師用机	1
3. ユニット流し台	4
4. ユニットガスレンジ	4
5. ユニットガス台	4
6. 冷凍冷蔵庫	1
7. 食器戸棚	1
8. 縫製用材料棚	1

名 称	数 量
9. ステンレス作業台	6
10. ジューサーミキサー	5
11. 鍋類	5
12. 炊事用具	5
13. 調理用小物セット	5
14. 洋食器セット	30
15. テーブルウェアセット	30
16. まな板包丁セット	5
17. 盆	5
18. 計量器	5
19. ポット	5
20. 砥石	2
21. オープントースター	2
22. 電動ミシン	5
23. ジグザクミシン	2
24. 穴かがり用品	5
25. 縫製用具(教師用)	1
26. 縫製用具(生徒用)	5
27. 裁ちバサミ	10
28. スカートマーカ-	2
29. 人台	2
30. 電気アイロン	5
31. アイロン台	5
32. 仕上げ用肩馬	2
33. 仕上げ用中馬	2
34. 噴霧器	5
35. もの指	5
36. ピンキング鉄	10
37. 試着用カーテン	1
38. 試着用鏡	1

名 称	数 量
39. OHP/台付	1
40. OHPスクリーン	1

名 称	数 量
[木工実習室]	
1. 自動カンナ盤	1
2. 手押カンナ盤	1
3. 丸のこ盤	1
4. 帯のこ盤	1
5. 木工旋盤	1
6. 移動集ジン機	1
7. エアコンプレッサー	1
8. 両頭グラインダー	1
9. 糸のこ盤	1
10. 電動カンナ	2
11. ジグソー	2
12. 電動カッター	1
13. 卓上ボール盤/台付	1
14. ディスクサンダー	2
15. ディスクグラインダー	2
16. 電気ドリル	2
17. ルーター	2
18. 電動木工セット	1
19. ハンドグラインダー	5
20. ハンドドリル	5
21. クリコギリ	5
22. ホールソー	2

名 称	数 量
23. 木工バイスセット	5
24. 手動カンナセット	5
25. のこぎりセット	5
26. のみセット	5
27. きりセット	5
28. ケビキ	5
29. ハンマーセット	5
30. ヤスリカンナ	2
31. 目立ヤスリ	5
32. 木工ヤスリ	5
33. 砥石セット	5
34. 水平器	5
35. さし金セット	5
36. 通尺/巻尺	5
37. クランプ	5
38. オーガー	3
39. 平面用ドレッサー	2
40. 凹面用ドレッサー	2
41. 工具セット	2
42. 手刀	5
43. 彫刻刀セット	5
44. 墨ツボ	5
45. ノギスセット	3
46. ガラス切	5
47. 木作業台	2
48. 製図台	1

名 称	数 量
[金属加工実習室]	
1. 旋盤	1
2. フライス盤	1
3. 両頭ブラインダー	1
4. 金切鋸盤	1
5. 電気溶接機	1
6. ガス溶接機	1
7. エアコンプレッサー	1
8. 15ton プレス	1
9. 足踏切断機	1
10. 折曲機	1
11. 三本ローラー	1
12. 卓上ボール盤/台付	1
13. 部品洗浄槽	1
14. 高速切断機	1
15. 電気ドリル	2
16. ディスクサンダー	2
17. エンビ熔接機	1
18. 電極乾燥機	1
19. 携帯用グラインダー	2
20. 万力	4
21. 弓のこフレーム	5
22. タップダイスセット	2
23. 刻印	2
24. ノギス	5
25. マイクロメーター	2
26. ダイヤルゲージセット	2
27. シクネスゲージセット	2
28. 水平器	5

名 称	数 量
29. 巻尺直尺	5
30. パス	5
31. ヤスリセット	5
32. トーチランプ	2
33. トルクレンチ	2
34. ハンドリベッター	2
35. 定盤/台付	1
36. Cクランプ	3
37. Vブロック	3
38. コンビネーションプライヤー	5
39. ウォーターポンププライヤー	5
40. モンキーレンチ	5
41. パイプレンチ	3
42. メガネレンチ	5
43. ソケットレンチ	5
44. スパナセット	5
45. のみセット	5
46. ペンチ	10
47. ドライバーセット	10
48. 6角レンチ	5
49. Tレンチセット	3
50. 半田ゴテ	5
51. スコヤ	5
52. 工具セット	2
53. 工具スタンド	2
54. ハンドトラック	2
55. パイプベンダー	1
56. 電動ネジ切機	1
57. パイプカッター(手動)	2

名 称	数 量
58. パイプバイス	2
59. ガラス切	2
60. スクレパー	10
61. ハンドバイス	10
62. 柳刀/直切セット	5
63. 金床	2
64. ハンマーセット	5
65. カジ屋用手工具	1
66. エンジン発電機	1
67. 金工作業台	2
68. 製図台	1

V. その他

名 称	数 量
1. 研修室用スクリーン	11
2. 共用OHP	6
3. 共用16ミリ映写機	2
4. 共用スライド映写機	2
5. 共用映写テーブル	10

7. NIEの活動状況(1986年～1988年)

教育管理職員研修部

研修内容 (1987年～1988年)

(Ma:マハラガマ)

研修コース名	研修内容	研修参加者資格	講師(人数)	開催場所	参加者数×回数/年 (参加者総数)	期間	運営費 (ルピー)
1. 教育管理コース	教育管理の理論と実習	教員経験5年以上の大学院教職員専門課程修了者	NIE、文部省、大学、British Council(36)	NIE (Ma)	37×1 22×1 (59)	1年	1,100,000
2. 教育管理職員(Ⅲ級)入門コース	同上及び管理実習	教育管理職員Ⅲ級	NIE、文部省、スリランカ国際開発公社、大学 (55)	国立青少年センター	111×1 (111)	4ヶ月	2,595,310
3. 教育管理研修コース	教育管理実習 - 問題点 - 新制度	教育管理職員(Ⅱ、Ⅲ級)	同上 (20)	NIE (Ma)	24～36×12 (366)	1ヶ月	73,000
4. 教育運営研修コース	校長の役割と実習	高等学校校長	同上 (76)	NIE (Ma)	19～40×7 (102)	1ヶ月	260,000
5. 教育運営・通信教育コース	小規模校における原理と概念	小・中学校校長	同上 (13)	NIE (Ma)	100×1 (100)	1年	225,000
6. 研修方法開発コース	研修方法	学校運営アドバイザー	同上 (17)	NIE (Ma)	4～10×3 (21)	3週間	50,000
7. セミナー/研修会	最近の発刊物からのテーマ	教育管理職員Ⅰ級及び上級管理職員	同上 (20)	NIE (Ma)	20×1 (20)	1ヶ月	45,000
8. 教育運営研修コース (教頭用)	基本原理と実習	教頭クラス	同上 (10)	NIE (Ma)	52×1 (52)	1ヶ月	25,000

教育管理職研修部

研究活動 (1987年~1988年)

研究プロジェクト名	プロジェクトの内容	期間	研究者数(名)	研究費 (ルピー)
1. UNDP研究プロジェクト	1981年からの教育現場での運営上の問題点	8ヶ月	6	75,000
2. 3地域での1984年改革の影響研究	1984年の地方分権化後の教育改善レベル	12ヶ月	3	115,000
3. 優良校のケーススタディ	3つの優良校のケーススタディ	3ヶ月	2	200,000
4. 共同研究ブリッジプロジェクト	運営改革の影響	6ヶ月	2	ブリッジプロジェクト予算より支出
5. ケガレ教育行政単位のケーススタディ	履行指針と効果	3ヶ月	1	同上
6. カリキュラム運営による質的向上	到達度の判定、判定技術の開発	12ヶ月	3	72,000
7. 20×3000: 20タイプの自己学習用モジュールの準備・作成	基本概念(技能と実習)	6ヶ月	2	1,200,000
8. 読書用補助書物の準備 300×15(小冊子)	基本概念(技能と様式)	3ヶ月	9	112,500
9. 2つの要約の準備	読書物、運営	3ヶ月	3	150,000

通信教育部

研修内容(1986年~1988年)

(Ma: マハラガマ)

研修コース名	研修内容	研修参加者資格	講師(人数)	開催場所	参加者数×回数/年 (参加者総数)	期間	運営費 (ルピー)
1. 小学校(1年~6年)教員 教育コース	教職教育理論と実習、教育方法を含めた小学校カリキュラム	G.C.L(O/L)修了者 で現在教職にある者	MOE、NIE (~'87:150) (88~:135)	35地域セン ター	3,093('84~'86) 3,183('85~'87) 893('88~'90)	3年	26,282,624
2. 中学校(7年~11年)理科 科教員教育コース	教育家理論と中学教育に 関した数学科としての教育 方法の実際	G.C.L(O/L)修了者 で現在教職にある者	同上 (~'87:150) (88~:135)	35地域セン ター	1,573('84~'86) 1,112('85~'87) 944('87~'89) 862('88~'90)	3年	
3. 大学卒業者通信講座 (教職教育未修了者)	教職教育理論と実習中 学校レベルにおける選択 科目の教育方法	大学卒業者で教職 にある者	MOE、NIE (20)	コロンボ、 キャンデン、 ゴール、ジャ ーナ	600×1	1年	1,502,065
4. 通信教育専門家のセ ミナー/研修会	教材作成、編纂及びレ アウト、研究、教育実 習、通信教育	大卒教職教育修了 教員、教職教育修 了中高校教員	MOE、NIE、SIDA (6)	NIE(Ma)、 コロンボ、 キャンデン	30~75×9 (75)	1年	1,220,654 +SIDA基金

通信教育部

研究活動(1986年~1988年)

研究プロジェクト名	プロジェクトの内容	期間	研究者数 (名)	研究費 (ルピー)
1. 教職員のための通信教育プログラムの情勢	通信教育プログラムの情勢についての意見調査(1984年~1986年)	7カ月	10	80,000
2. モジュール改正について教員及び学生の提案	モジュール改正に向けて通信教育受講者からの意見調査。サンプル研究	11カ月	10	60,000
3. 教職員のための通信教育プログラムの情勢	通信教育プログラムの情勢についての意見調査(1985年~1987年)	5カ月	5	45,000
4. 1984年~1986年に通信教育を修了した理数科教員の授業調査	教室内での担当授業科目(例えば理科と数学)についての検証調査	3カ月	4	20,000
5. 通信教育で学ぶ英語。英語教員以外の教員のニーズの確認調査	英語教員以外の教員の英語教育の必要性確認調査	6カ月	8	35,000
6. 1987年~1989年通信教育コース受講者の経歴分析	1987年~1989年コース受講者の経歴書の収集と分析	7カ月	5	25,000
7. 最終試験の統計分析	最終試験結果の分析	3カ月	8	45,000

教員養成部

研修活動(1986年～1988年)

(Ma: マハラガマ)

研修コース名	研修内容	研修参加者資格	講師(人数)	開催場所	参加者数×回数/年(参加者総数)	期間	運営費(ルピー)
1. 大学院教職課程	教職教育	大学卒(文科、理科)	NIE (48)	10ヶ所地域センター	1986～88(445)	2年	2,087,675
2. 大学院教職課程教官のための研修会	教授法	大学卒(文科、理科)、大学院教職課程修了者、教職博士課程修了者 同上	1986 NIE (4) 1987 NIE (6) 1988 NIE (5)	サルボグヤモロトフ NIE (Ma) NIE (Ma)	1986(40×1) 1987(48×1) 1988(45×1)	1ヶ月 1ヶ月 1ヶ月	40,000 30,000 33,000
3. 教官教育コース	理科、数学、物理学 教材作成	大学卒(文科、理科)、大学院教職課程修了者 教職博士課程修了者 同上	同上 (8)	NIE (Ma)	68×1	2ヶ月	106,000
4. 教員養成評価コース	教員養成評価(教育、実習)	同上	NIE (6)	NIE (Ma)	48×1	1ヶ月	60,000
5. 教員養成部スタッフへの教育管理計画研修	計画管理評価	同上	NIE (5)	NIE (Ma)	20×1	1ヶ月	30,000

教員養成部：研究活動(1986年～1988年)

研究プロジェクト名	プロジェクトの内容	期間	研究者数(名)	研究費(ルピー)
教員の分析	教員研究所の必要性	1年3ヶ月	3	100,000

特殊教育センター

研修活動(1986年～1988年)

(Ma: マハラガマ)

研修コース名	研修内容	研修参加者資格	講師(人数)	開催場所	参加者数 × 回数/年 (参加者総数)	期間	運営費 (ルピー)
1. 視力障害児教育	点字、弱視力者訓練	教職課程未修了教員	NIE、MOE (3)	NIE (Ma)	25×1 (25)	2年	┌ └ 600,000
2. 聴覚障害児教育	手話	同上	同上 (3)	NIE (Ma)	30×1 (30)	2年	
3. 精神薄弱児教育	DLA技術の確認	同上	同上 (3)	NIE (Ma)	30×1 (30)	2年	
4. 地方主任教員研修	軽度障害者教育	教職課程修了教員	同上 (4)	地域センター	25×1 (25)	15日	20,000
5. 弱視力児教育教員研修	弱視力者研修	同上	同上 (4)	同上	25×1 (25)	15日	20,000

特殊教育センター

研究活動(1986年～1988年)

研究プロジェクト名	プロジェクトの内容	期間	研究者数 (名)	研究費 (ルピー)
1. シンハリ語手話研究	手話のビデオ記録及び編集、辞書作成	8年	12	2,000,000
2. 視聴覚及び口頭読解術	シンハリ語口頭読解法開発 臨床研究	1年	3	1,500,000

コンピュータ教育部

研修活動(1986年～1988年)

(Ma: マハラガマ)

研修コース名	研修内容	研修参加者資格	講師(人数)	開催場所	参加者数 × 回数/年 (参加者総数)	期間	運営費 (ルピー)
1. 教員用コンピュータ教育(オリエンテーション)	コンピュータ教育: コンピュータと教育 用ソフトウェア開発 入門	理科系大卒者、 G.C.L(A/L)修了教員	NIE及び受講済教員 (32)	NIE(コロンボ)	155×1 50×1 (205)	2週間	300,000
2. 教員用コンピュータ教育(上級者用)	時期に応じたコン ピュータ教育プログ ラムへの各種要求	同上	外国人専門家 (5)	同上	30×1 (30)	1ヶ月	150,000

視聴覚教育部

研修活動(1986年~1988年)

(Ma: マハラガマ)

研修コース名	研修内容	研修参加者資格	講師(人数)	開催場所	参加者数 × 回数/年 (参加者総数)	期間	運営費 (ルピー)
1. 低価格教材作成研修会	人間生物学教育用教材	教職課程修了理数科教育教官	西ドイツからの専門家 (1)	ハリエンラ科学センター	20×1 (20)	10日	20,000
2. UNESCO研修会	自習教育メディアの製作	大学卒及び教職課程修了中学校教員	UNESCOからの専門家 (2)	NIE(コロンボ)	20×1 (20)	1ヶ月	64,000
3. 低価格補助器具作成研修会	中学・高校用理科用教材	教職課程修了理科教員	NIE (5)	キャンデイ科学センター	22×1 (22)	10日	20,000
4. 低価格教材作成のための5つの研修コース	同上	同上	NIE (5)	コロンボ、キャンデイ、アヌラダプラ、ハリエンラ	20×5 (100)	5日	65,867
5. 低価格教材作成研修会	中学・高校用社会科学用教材	大学卒及び教職課程修了教員	NIE (5)	NIE(コロンボ)	20×1 (20)	3日	4,500
6. 視聴覚教材・機材の使用法研修会	教材・機材の使用法	大学卒教員	NIE (5)	同上	20×1 (20)	2週間	25,000
7. 補助教材作成研修会	小学校用教材	教職課程修了小学校教員	NIE (5)	同上	20×1 (20)	1週間	16,000
8. 脚本作成研修会	ラジオ番組用脚本	大学卒教員	NIE、外部専門家 (5)	同上	20×1 (20)	2週間	28,000
9. コミュニケーション研修会	効果的コミュニケーションと機材の利用	同上	同上 (5)	同上	20×1 (20)	2週間	24,000

視聴覚教育部

研究活動(1986年～1988年)

研究プロジェクト名	プロジェクトの内容	期間	研究者数 (名)	研究費 (ルピー)
教育番組評価	教員、生徒、父兄との討論 会	1年	20	12,000
視聴覚教育への要求調査	学校を訪問し教員と討論	1年	4	4,000

企画室

研修活動(1988年)

(Ma: マハラガマ)

研修コース名	研修内容	研修参加者資格	講師(人数)	開催場所	参加者数 × 回数/年 (参加者総数)	期間	運営費 (ルピー)
1. NIEの活動経費研修会	各部門内の活動あるいはプロジェクトの経費を確認し、経費見積書を作成する。 経費査定及び活動能力の調整。	NIEの部門長	NIBM (3)	NIBM	19×1 (19)	2週間	11,200
2. 同上	同上	NIEの部門長と各プロジェクト責任者	NIBM NIE (3)	NIE (Ma)	48×1 (48)	1ヶ月	-

NIBM: マハラガマビジネス研究所

調査室

研修内容(1986年～1988年)

(Ma: マハラガマ)

研修コース名	研修内容	研修参加者資格	講師(人数)	開催場所	参加者数×回数/年 (参加者総数)	期間	運営費 (ルピー)
1. 研究方法	ケーススタディ、指導計画、資料収集	大学院教職課程修了者 大学院修了者	MOE、NIE、大学	MOE, NIE, SLFI, ARTI	190×1	1年	325,000
2. データ処理	資料縮小化 資料索引化	同上	同上 (20)	同上	120×1	1年	
3. データ分析	内容統計化	同上	同上 (18)	同上	125×1	1年	
4. 調査報告書の準備	調査ダイジェスト、調査報告書	同上	同上 (40)	同上	190×1	1年	
5. コンピュータの利用	コンピュータ紹介	同上	同上 (3)	同上	9×1	1年	
6. 地方小規模小学校の校長、教育行政官及び主任教員の研修	伝達方法、資産運営、評価方法、教育機器	大学卒教職課程修了教員	学校地区教育局 (3)	クルメガラ ポロナルワ キヤンデイ ラトナプーラ チラウ	475×1	1年	250,000

SLFI : スルランカ基礎研究所

ARTI : 農業研究-研修所

調査室

研究活動(1987年~1988年)

研究プロジェクト名	プロジェクトの内容	期間	研究者数 (名)	研究費 (ルピー)
1. ブリッジプロジェクト	校長の効果 教員態度	2年	15	872,000
2. 技術水準の見直し (UNDP)	学校間のコミュニケーション、内部効果、外部効果、 学習意欲、運営、カリキュラムと試験、集団及び区域 分け	2年	25	300,000
3. 優秀校のケーススタ ディ(UNDP)	校長の指導性、教授法、学 区との関係、カリキュラム の実施、運営訓練、カリ キュラム以外の活動	1年	28	180,000
4. 中等教育の研究 (UNESCO)	スリランカにおける中等教 育	1年	6	30,000
5. NIE調査 機能の調査	教員教育、教授法、欠席、 教員効果、校長の役割、教 学の到達率、特殊教育、カ リキュラム関連	1年	22	360,000
6. 共同刷新プロジェク ト(NIE/UNESCO)	小学校児童の学力の向上	1年	4	30,000
7. NIE/UIE共同プロ ジェクト	終身学習	1年	1	
8. NIE優先課題研究	小学校用教科書	1年	2	30,000
9. 将来研究項目	教育方針、終身学習への参 入、教育・学習と社会、高等 教育	1年	9	50,000

JICA